



(有)陽建設 服部 信幸

市原氏の司会により飯島会長挨拶の後、村上先生の講演が始まりました。

初めは先生がまだ学生や院生の頃から関わられた、多くの実在構造物の破壊実験や振動実験のお話をユーモアを交えて語られましたが、その中で先生のお人柄と周囲の方々との交流が垣間見え、先生がこれまでの人生で如何にすてきな人間関係を構築されてきたか伺えました。

その開始30分間の講演にも、鉛ケーブルにて放射性物質を遠隔操作した話とか新潟地震での鉄骨造被害の話、十勝沖、宮城沖等の経験談からイタリア南部地震での応急危険度判定の大切さを自覚したなどとお話下さいました。



私は中でも松代の農家の実験の話が面白く、筋交いのない昔の日本家屋の耐震性が馬鹿に出来ない物であると考えさせられました。その後、本格的に動特性と

構造計画の講演に入りました。

東松山地震応答観測記録での各建物で最大加速度発生階数が地盤や建物形状によって変わると言う事を数字にて示され、地盤の固有周期と建物の固有周期が一致した場合の危険性を話され、次ぎに固有周期、固有振動形、刺激関数と話されたあたりでは、丁度、定例勉強会で「フーリエの冒険」を勉強された会員にはぴったり波の話へと続きました。

そして、高次モードとロッキング、ねじれへと講演は佳境と入り、細長い建物での震動では妻壁の有無が大きく影響する事等を多くの実験結果や観測結果を用いてご説明下さいました。ねじれを考慮すると振動解析は一筋縄では行かない、隅柱へは無条件に3割り増しの鉄筋を入れて於けと先生が諸先輩から受けた助言を立証されたとの事でした。

会員委員会定期便

1. 在住会員の勤務先住所変更
株式会社 星設計 小川 和昭
新住所: 東京都江東区東陽5-28-1アライマンション102
TEL: 03-5617-1451/FAX: 03-5617-1452/E-mail: let02346@nifty.ne.jp

2. 旅行の計画について
懇親旅行の日程は諸般の事情により秋になりました。また、耐震補強の先進県である「JSCA神奈川」との技術交流としての訪問を6月頃に企画中です。また近々お知らせいたしますので、楽しみに。

会員委員会 青木光年・服部信幸

最後に各加速度応答スペクトル、要求耐力スペクトル等のご説明を戴きました。

先生の「弾性の性質を頭に入れておけば塑性時の安全性が見えてくる。」と言うお言葉をこの講演の主題と私なりに解釈させて頂きました。

先生の熱演もあり第1部が30分延び5時30分より第2部開演となりました。

第2部は園部氏の司会で会長挨拶、上杉英樹先生の乾杯へと流れ、多くの協力会員の方々とお話も出来ました、又今回から協力会員に成られた方の中には、私の若い頃からの



友人もおり大変懐かしい時間を過ごせました。

さて、初めにバレンタインデーの華やかさに取り残された会と書きましたが、今回は加藤設計事務所の加藤令夫人が参加され、カラオケを歌って戴く等々大変に盛り上げていただき華やかな会に成りました。

ここ数年来、私は受付等を承り、なかなか講演も聴けず懇親会も途中から参加と言う形でしたが、今年は梶山さん、青木さんが引き受けて下さり、私は会を楽しませて戴きました。

そして、今年もこの様な会を開催して下さいました、役員の方々お疲れさまでした。

来年も、参加できる様に皆さんも頑張りましょう。

そして、ホテル前の居酒屋で先生を交えた2次会へと続き、Zのハッピーニングへと時は流れ、さらに3次会へと向かう千鳥足を見送り、私は帰路へと歩き始めたのでありホッとした心持ちでございました。



「千葉県主催の講習会」隔日で開催される

千葉県主催による耐震診断・補強に関する講習会が千葉県自治会館6階大ホールで、隔日2日間に渡って盛況のうち開催された。当講習の受講者は、講習会修了者名簿に登録され、県民の閲覧に供されることになる。

1. 既存鉄筋コンクリート建築物の外側耐震改修に関する講習会

3月10日(月)午前10時から午後4時30分まで「外側補強」に関する講習会が開催された。県建築指導課より主幹の挨拶を受け、主査によるオリエンテーション、副主幹による「県内における耐震診断・改修の状況」の説明が行われた。

テキストは建築防災協会発行「外側耐震改修マニュアル」一枠付き鉄骨ブレースーで、第一章～第三章の総則～理論展開部を(株)堀江建築工学研究所の太田勤代表、第四章・接合部の設計を東京理科大学工学部建築学科の中野克彦助手、第五章・計算例を(株)竹中工務店設計部・藤村勝構造課長が、それぞれ解説し研究成果を披露された。特に既存部との接合に留意点があると印象づけられた。(安田)

2. 木造住宅の耐震診断と補強方法に関する講習会

この3月12日(水)に、千葉県主催の上記講習会が開催された。対象は、一級・二級建築士・木造建築士で、県建築指導課の担当者から木造住宅の精密耐震診断を含む診断方法の講習をメインに、その他耐震改修工法や事例についてテキストに沿っての説明がなされた。

計算例の紹介のため使用された(財)日本建築防災協会の

にアクセスすればダウンロードできるとのこと。

定員180名のところ200名弱の申込みがあり会場は大入り満員の盛況であり、建築士の住宅耐震補強によせる関心の高さが窺われた。ただ、一部には盛況ぶりについて不況のせいではないかと、皮肉な見方をするむきも無きにしもあらず。

講習会終了後、全員に修了証が交付され、リストが関係箇所に入れられ一般の閲覧に供される。(坂恵)

「岡田恒男教授の最終講義」

2月25日に芝浦工業大学建築工学科岡田恒男先生の最終講義、退官パーティーがあり、JSCA千葉からは、齋藤・向後・市原が出席し、最後の講義を受けてきました。

岡田先生は、東京大学教授の頃より、耐震診断・耐震補強設計に関して、多くの皆様とも深い関係があり、現在は(財)日本建築防災協会の理事長もなされております。

千葉県在住ということもあり、平成8年以前の千葉県有建築物の耐震判定委員会・委員長をなされ、千葉の耐震設計・地震防災に大きく貢献されてこられました。先生のこれからのますますのご活躍をお祈りしたいと思います。(市原)

出版記念パーティでの著者



出版記念パーティでの著者

新刊紹介

旧聞に属することになりましたが、昨年9月18日、田中修一氏の出版記念パーティが千葉市のバーデイホテルで開かれました。

「チャートでわかる建築工事監理の実務」 B5版222頁、発行所(株)彰国社 (定価¥3,000)

監理者が実務時に遭遇する、判断のポイントを明解に示した解説書となっています。現場に行く機会の少ない構造技術者にも意匠が解る必読の本と思います。(安田)

著者略歴

1942年 東京都文京区に生まれる。

1964年 千葉大学工学部建築学科卒業。

1985年 (株)田中建築設計事務所開設

現在 千葉銀行プライベートバンキング室 専門相談員
千葉大学工学部デザイン工学科 非常勤講師

日本建築家協会 千葉代表
千葉県建築家協会 副会長
千葉県耐震判定協議会 理事

JSCA千葉技術委員会議事録抜粋(定例月1回)

Table with 4 columns: 技術委員会 (委員長 市原嗣久), 出席・市原委員長他7名, 議事録抜粋 (1. 限界耐力計算・損傷限界耐力について...), お願い (技術委員会参加者募集)